



助け合う子 徳
考える子 知
鍛える子 体



令和6年9月26日9月号

感謝の気持ち

校長 大垣 幸治

暑かった夏も過ぎ、今年は気持ちのよい秋が続いています。2学期も1ヶ月が過ぎ、24日からは学習発表会に向けて特別時間割もスタートしました。学年の発達段階にもよりますが、これまでの学習の成果を自分たちで考えたり工夫したりしながら、学年全員で力を合わせ、発表を創り上げます。どんな発表を見せてくれるか今から楽しみにしています。

9月4日に全校朝会がありました。そこで、次の話をしました。

感謝の気持ちを表す「ありがとう」の反対言葉は何か知っていますか？実は、「当たり前」なんです。

ありがとうというのは、「有難い」から来ていて、それは漢字で書くと「あることが難しい」と書きます。簡単にいうと「滅多にない」「珍しくて貴重だ」ということです。ですから、あるのが「当たり前」の反対として、有難いと思う心、それが「ありがとう」です。

皆さんは、身の回りがあることにありがとうの気持ちをもっていますか？

歩けるのが、当たり前。目が見え、耳が聞こえるのが、当たり前。手足が動くのが、当たり前。息ができるのが、当たり前。そんなふうを感じている人がたくさんいると思います。

でも、それができなくなったときに気付きます。今年は何がをする人が多いように感じますが、校長先生もけがをしたことが何度もあります。足を骨折したり、足のアキレス腱を切ったりしました。普段は歩くことは当たり前のことだったのですが、そのけがのせいでとても辛い思いをしました。そのときは、普通に歩けることができることの有難さを感じました。

また、皆さんの周りにはたくさんの方がいると思いますが、してもらって当たりの気持ちになっていませんか？

ご飯を作ってくれるのが当たり前。洗濯をしてくれるのが当たり前。勉強を教えてくれるのが当たり前。一緒に遊んでくれるのが当たり前。話を聞いてくれるのが当たり前。

そんなふうを感じている人いませんか？

身の回りがある物や人がしてくれるのが当たり前ではなく、私達は自分では気付かないところで様々な物や人に支えられて生きています。それらに気付くことができると、自然と感謝の気持ち、ありがとうという気持ちが湧いてくると思います。ぜひそれらに気づき、『当たり前のことにありがとう』と思える、その気持ちをいつも大切にしてほしいと思っています。

感謝の気持ちをもつことは、人との関わりをよくすることや思いやりの心を育むこと、より幸福感を感じることにもつながります。まずは、子ども達にそれらを伝えたくて話しました。さらに学校では、今年度の重点の一つに「自己有用感の育成」を掲げています。「自己有用感」とは、誰かの役に立っている、貢献している等、自分が有用であると思える感情を言います。それは、誰かに必要とされた、喜んでもらった等、周りの存在なしでは生まれません。これからの学習発表会の取組を通して、互いに認め合い感謝し合える姿もイメージしながら話しました。みんなで喜び合える学習発表会を創り上げてほしいと思っています。



10月12日(土)に開催します。
皆様のご来場をお待ちしています。

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果から

本校児童の平均正答率	国語	算数
	69%	66%



4月18日に実施した今年度の全国学力・学習状況調査の結果が先日公表されました。

平均正答率を見ますと、本校児童は、国語、算数ともに全道平均及び全国平均を上回っており、昨年度から学校経営の方針で重点に掲げている「学び意欲を高め、確かな学力を育成する学習指導」の取組が成果として表れているよい結果となっています。

質問紙調査においても、●「自分には、よいところがあると思いますか」の質問に対し、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童が全国平均を3.7pt上回る87.8%とこちらも学校で重点として取り組んでいる「自己有用感の育成」の取組の成果が定着していることが分かる結果となりました。また、●「PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用したか」の質問に対し、「ほぼ毎日」と回答した児童が全国平均を66.6pt上回る91.9%と、昨年度に引き続き、授業でのICT機器の活用について、大きな成果が見られています。

その一方で、●「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。」の質問に4時間以上と答えた児童が全国を6.5pt上回る24.2%、●「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）」の質問に4時間以上と答えた児童が全国を5.3pt上回る17.2%という結果となり、これからの時代を生きる子ども達には必須になる『ICT機器とどのように向き合うか』について、家庭、学校がよりいっそう協力して取り組んでいく必要があるとの課題も明らかになりました。

今後、今回の結果を受けて、学校では、校内学力向上チームで更なる分析を行うとともに、今年度の重点目標である『笑顔いっぱい～主体的に学び、共に高め合う子の育成～』にむけて、全教職員で東聖っ子の学力の更なる向上に努めていきます。

東神楽町三校合同宿泊研修

9月11日（水）、12日（木）の一泊二日で東聖小、東神楽小、志比内小3校の5年生が、大雪青少年交流の家において合同で宿泊研修を実施しました。

今回の宿泊研修では、事前に3校合同で防災学習を行い、当日をむかえました。

天候のため内容の一部を変更しましたが、ジオハイキング、スポーツ交流などの行程を通して、三校の交流を深め、ひと回り大きく成長して帰ってきました。



お知らせ

◇前任の坂井藍子さんが家庭の事情により退職し、補充として

矢澤 友美（やざわともみ）さん

が、新たに着任しました。よろしくお願いいたします。

◇10/2は上川管内教育研究会中部地区大会となります。9/4に送りましたマチコミメールでご確認ください。

◇4月に配付したスクールカレンダーで9/26～27に実施するとお伝えしていた児童生徒作品展は、【10/29（火）～11/3（日）】に図書館で実施します。ご承知おきください。



10月の主な行事予定

- 2日（水）臨時休業（上川管内教育研究会中部地区大会）
- 3日（木）おうまのおやこ読み聞かせ（1・2年）
- 4日（金）クラブ活動、フッ化物洗口
- 10日（木）学習発表会総練習
- 12日（土）学習発表会
- 14日（月）スポーツの日
- 16日（水）発表の集い「夢色シンフォニー」
- 17日（木）田んぼの学校（5年）
- 18日（金）週休日の振替（学習発表会）
- 21日（月）さくら会活動 道警音楽演奏会
認知症サポーター養成講座（5年）
- 22日（火）貯金日
- 23日（水）中学校との交流学習（6年）
- 24日（木）おうまのおやこ読み聞かせ（4・6年）
薬物乱用防止教室（5・6年）
- 25日（金）校外学習（旭川市博物館）（4年）
- 26日（土）～27日（日）日本PTA北海道ブロック総大会
- 29日（火）校外学習（大雪東消防署）（3年）
- 29日（火）～11月3日（日）児童生徒作品展
- 30日（水）舞台芸術鑑賞（3～4年）英検ESG（6年）
PTA本部役員会、PTA本部役員選考委員会
- 31日（木）全校朝会（三役認証）